



藤田 昭 議員

一般質問から見えてきた高島市における諸課題の対応について

問 JR安曇川駅周辺の駐停車車両に対する現状認識および対策は

答 高島警察署と連携して啓発活動に取り組んでいます。

問 JR安曇川駅周辺の駐停車車両に対する現状認識および対策は。

答 都市整備部長

高島警察署との協議では、交通量などの状況から、道路交差点部による駐停車禁止などの規制をかける状況になく、交差点部の駐停車禁止場所以外は乗降のための停車の取締ができないとの判断でありました。市としては危険防止の観点から高架下で駐車される方に対し、JR安曇川駅東側ロータリーへ誘導する看板の設置や、高島署と連携して啓発活動に取り組んでいます。

問 JR安曇川駅東側ロータリーは、満車で入り切れないため、青柳五番領線の横断歩道上に停車し、高架下にも両サイド停車している。空きスペースがないので停車もできない。こうした状況の対策は。

答 都市整備部長

満杯であることは承知しておりますが、安全面に関しては警察で取り締まっていただけと考えています。物理的な駐車スペースが無い中で、解消は難しいと認識しています。

問 三尾里地区を横断している主要地方道小浜朽木高島線の道路改良と市の交通安全対策の取組と現状認識は。

答 都市整備部長

県では、道路整備アフションプログラムを策定し、道路整備を計画的に進めておられますが、当該道路ではアフションプログラムに位置付けられていないことから、早期

の道路拡幅や歩道整備等の道路改良は困難であると認識しています。状況を踏まえ、引き続き県や県警と連携し、交通安全対策および交通安全啓発を重点的に実施してまいります。

問 三尾里集落を通過する、特に午前6時過ぎから午前8時過ぎの交通量を把握しているか。

答 都市整備部長

私が通過量を測るといったことはありません。県道であることから、県で調査をされていると認識しています。

